

日特建設株式会社

本店
〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6
TEL.03(5645)5050(大代表) FAX.03(5645)5051

札幌支店

〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東4-2-20 1F
TEL.011(801)3611(代) FAX.011(801)3633

旭川営業所	TEL.0166(48)3700
函館営業所	TEL.0138(35)7010
道東営業所	TEL.0155(24)5600

東北支店

〒982-0036 仙台市太白区富沢南1-18-8
TEL.022(243)4439(代) FAX.022(243)4438

青森営業所	TEL.017(773)7275
盛岡営業所	TEL.019(606)6120
三陸出張所	TEL.0193(27)8157
秋田営業所	TEL.018(863)3035
山形営業所	TEL.023(641)5988
福島営業所	TEL.024(536)1800

東京支店

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6 2F
TEL.03(5645)5100(代) FAX.03(5645)5107

長野営業所	TEL.026(228)6761
群馬営業所	TEL.027(253)2305
宇都宮営業所	TEL.028(637)3567
水戸営業所	TEL.029(246)2700
埼玉営業所	TEL.048(647)6981
千葉営業所	TEL.043(225)8023
横浜営業所	TEL.045(450)5553

北陸支店

〒950-0864 新潟市東区紫竹5-26-1
TEL.025(241)2234(代) FAX.025(241)2229

佐渡営業所	TEL.0259(55)2332
上越営業所	TEL.0255(44)4750
富山営業所	TEL.076(452)2766
金沢営業所	TEL.076(240)0111
福井営業所	TEL.0776(38)6499

名古屋支店

〒460-0008 名古屋市中区栄1-16-6 8F
TEL.052(202)3211(代) FAX.052(202)3212

岐阜営業所	TEL.058(275)0206
静岡営業所	TEL.054(202)2090
三重営業所	TEL.059(225)6575

大阪支店

〒541-0048 大阪府中央区瓦町2-2-7 10F
TEL.06(6232)2109(代) FAX.06(6232)2108

京滋営業所	TEL.075(646)5890
神戸営業所	TEL.078(577)2570
奈良営業所	TEL.0747(22)5571
高松営業所	TEL.087(840)4151
松山営業所	TEL.089(946)0771
高知営業所	TEL.088(861)4171

広島支店

〒730-0803 広島市中区広瀬北町3-11 9F
TEL.082(231)2109(代) FAX.082(231)2310

鳥取営業所	TEL.0857(39)8050
松江営業所	TEL.0852(21)7317
岡山営業所	TEL.086(226)1429
山口営業所	TEL.0839(235)4258

九州支店

〒812-0027 福岡市博多区下川端町1-3
TEL.092(271)6461(代) FAX.092(271)6482

佐賀営業所	TEL.0952(37)6912
長崎営業所	TEL.0957(49)9320
熊本営業所	TEL.096(382)1639
大分営業所	TEL.097(552)4222
宮崎営業所	TEL.0985(23)1406
鹿児島営業所	TEL.099(227)0901
沖縄営業所	TEL.098(875)4400

直轄グラウト部

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6 2F
TEL.03(5645)5111(代) FAX.03(5645)5112

海外事業部

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6 5F
TEL.03(5645)5055(代) FAX.03(5645)5056

ジャカルタ駐在員事務所(インドネシア共和国)

GENERALI TOWER GRAND RUBINA BUSINESS PARK 16th Floor Unit G,
Kawasan Rasuna Epicentrum Jl. HR Rasuna Said, Jakarta 12940, Indonesia
TEL.62-21-2994-1582 FAX.62-21-2994-1991

お問い合わせ 本店技術本部、事業本部、または最寄りの支店、営業所へお問い合わせください。

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6 5F

技術本部 TEL:03-5645-5115 FAX:03-5645-5113

事業本部 TEL:03-5645-5060 FAX:03-5645-5066



E-mail mag@nittoc.co.jp URL <http://www.nittoc.co.jp>

2017.06

スプリッツアンカー工法の取扱注意事項

●スプリッツアンカー工法の取扱に際しては、技術資料等をご確認ください。●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データに基づくものですが、多岐にわたる条件下での実際の現場施工結果を確実に保証するものではありません。●商品改良のため、予告なく仕様の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

NITTOC

NITTOC

軟弱地盤に確実に定着できる削孔技術

スプリッツアンカー工法

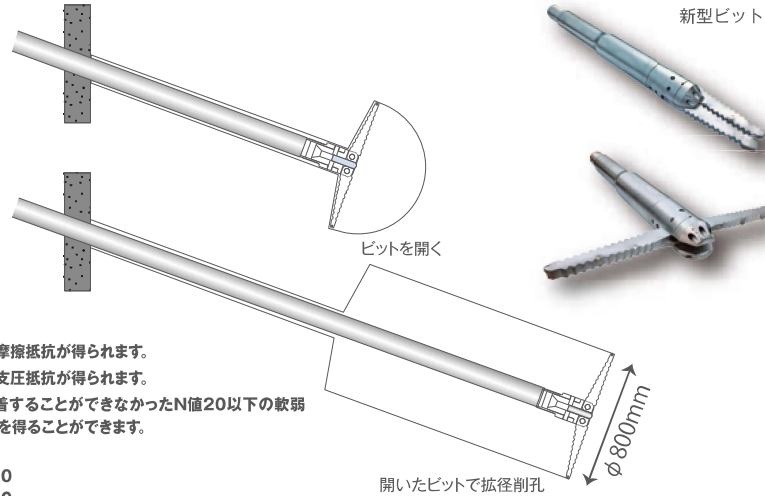


スプリッツアンカー工法

軟弱地盤に確実に定着できる削孔技術

スプリッツアンカー工法は、アンカー体長部を拡径削孔することにより、従来のグラウンドアンカーでは定着不可能であった軟弱地盤への定着を可能とした工法です。軟弱地盤に定着することで、アンカー長を短くすることができます。

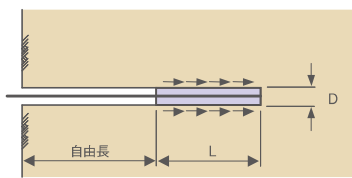
大口径のアンカー一体



特徴

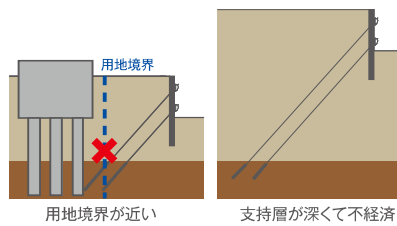
- 大きな側面積により、摩擦抵抗が得られます。
- 大きな断面積により、支圧抵抗が得られます。
- 今までアンカーを定着することができなかったN値20以下の軟弱地盤でも、引抜き耐力を得ることができます。
- 適用地盤
粘性土地盤: $2 \leq N \leq 10$
砂質土地盤: $5 \leq N \leq 20$

支持力機構

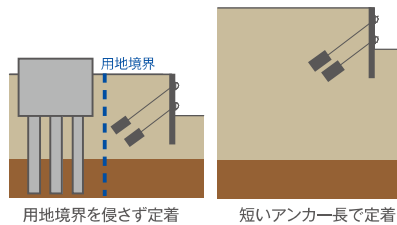


引抜き抵抗力=摩擦抵抗力

従来型アンカー



スプリッツアンカー



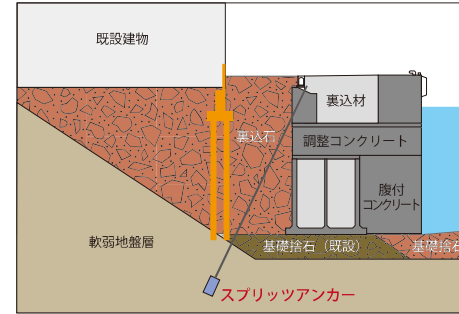
引抜き抵抗力=摩擦抵抗力+支圧抵抗力

短いアンカー長で経済的。工期短縮にも。

スプリッツアンカーの適用事例

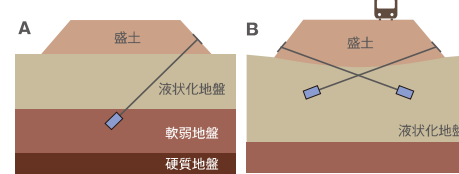
アンカー体を軟弱地盤に定着することでアンカー長を短縮でき、経済的な施工が可能になります。

■ 漁港岸壁の災害復旧工事



軟弱地盤に定着することで、削孔長を大幅に短縮しました。また、ロータリーパーカッションドリルで二重管削孔することにより、硬質な裏込石も問題なく削孔できました。

■ 盛土の耐震補強工事



A: 緩い粘土層などの軟弱地盤に定着することで、短いアンカー長で盛土の耐震補強工事が可能です。

B: 盛土の両側からクロス状に施工することにより、地震による軽微な沈下は許容しながら形状保持による盛土体としての機能を維持します。

国立研究開発法人土木研究所との共同研究

国立研究開発法人土木研究所との共同研究を実施(H18~20年度)し、アンカー体の出来形と引抜き耐力を確認しています。

